

2020年度 自己評価報告書

学校法人カトリック・マリスト会学園 葛カトリック幼稚園

1. 本園の教育目標

カトリック精神に基づいた「愛の精神」を、幼児の人格形成の基本におき、学校教育法及び、モンテッソーリ教育法を積極的に取り入れ、優れた人間教育を目的とし、将来にわたって主体的に生きる人となる基礎を養う。

2. 本年度、重点的に取り組む目標・計画

- ・教育内容の充実と自己点検
- ・子育て支援の取り組み
- ・危機管理、安全管理の周知

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目	取り組み状況
・教育内容の充実と自己点検	・「自分で考え行動し最後までやり遂げる子ども」 「隣の人を大切にし、じぶんを大切にできる子ども」 「思いやりと感謝の気持ちを持つ子ども」に向かうよう日々の幼児理解や園内での勉強会を通して、関わりを振り返る。 ・新型コロナウイルス感染拡大防止の為、園行事の変更があったが、実施内容や方法を改めて見直す機会になった。 ・教師一人一人が適切に日々の保育を自己点検しながら、情報交換や毎日の保育の振り返りによりお互い高めあうよう努めた。
・子育て支援の充実	・感染対策をした上での園庭開放により、遊び場を提供することができた。 ・コロナ禍、未就園児保育ルームが休止となったが、人数制限をしながらの「親子リトミック体操」を楽しんで参加していただけた。 ・対面でのコミュニケーションの場の提供が難しく、保護者間のかかわりを深めるため、クラスごとに、親子で遊ぶ時間を設け、共有する機会となった。
・危機管理、安全管理の周知	・「新しい生活様式」を基に感染防止対策に重点を置き職員の衛生管理意識と共に、園児の衛生習慣も向上した。

	<ul style="list-style-type: none"> ・常に危機意識に対して怠らず、各自が非常時に臨機応変に行動できるよう、避難訓練計画をたてている。 ・さまざまな場面を仮定した訓練の計画が必要。 ・扱い方や行動によっては危険を伴う場所を全職員が把握し、見守りや定期的な点検を行っている。
--	---

4. 評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

良好	<p>「新しい生活様式」への取り組みの中、危機管理意識が深まった。対面でのコミュニケーションが少なくなったが、遊びや活動の環境を工夫することができた。</p> <p>通常業務に加えた消毒作業や食事の仕方等、子どもたちの衛生管理は、その都度意見を出し合い見直してきた。今後も状況を踏まえながら、幼児の成長のためにできることを考えていきたい。</p> <p>モンテッソーリ教育の視点から就学前の子どもたちに「育てほしい姿」を意識した保育環境を整えるよう引き続き取り組んでいきたい。</p>
----	--

5. 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
環境を整える	<ul style="list-style-type: none"> ・補修改修だけではなく、子どもが手にする教具、教材を魅力あるものとして整備していく。 ・人的環境として、園に携わるすべての職員が共通理解し、質の向上に努める。
開かれたコミュニケーションの場	<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園での子どもたちの様子を保護者に伝える方法を工夫し、保護者の不安を軽減できるよう情報発信の方法について工夫が必要である。
保育所・小学校との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・市内の保育所との合同研修や連携。 ・園での活動を通じた幼児の学びが小学校につながっていくよう共有できるような取り組み。

6. 関係者の評価

※新型コロナウイルス感染が騒がれる中、さまざまな配慮や気遣いを持ち、子どもたちを楽しませようと工夫していただいた気持ちと愛情が伝わりました。

※先生がいつも笑顔で思いやりを持って一人一人に向き合っていていただきました。

※幼稚園では「自分で選ぶ」体験を通して目標に向かって試行錯誤する姿から成長を感じました。

また行事を通して園児同士が協力し力を出す機会もありたくましく育ちました。

※自然に恵まれた環境の中、のびのびと生活し心も体も育まれました。

<保護者代表>